

か 行	
キャリア形成	職員自らが将来をイメージし、目標に向かって業務や自己啓発に取り組み自己の成長につなげていくこと。
共創プロジェクト	地域団体やNPO法人、企業などの市民同士の連携による「新しい公共」活動の自立、持続化を支援するもの。
クリエイティブ産業	芸術、映画、ゲーム、服飾デザイン、広告など知的財産権を持った生産物の生産に関わる産業のこと。
コミュニティ・スクール	学校・保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。
コンパクト・プラス・ネットワーク	国土づくりの理念・考え方である「国土のグランドデザイン2050」で示された都市のコンパクト化と交通ネットワーク形成の総合的な連携によるまちづくりの基本的考え方。
さ 行	
サテライトオフィス	市街地に置かれた本社を中心に衛星（サテライト）のように、周辺の住宅地に設けた小さな分散型のオフィスのこと。
里の案内人	地域のコミュニティ団体からの推薦により、市の移住定住に関する講習を受講し認定を受けた人で、地域内で空き家の案内や暮らしに関する相談対応などにより、移住希望者と地域との橋渡しを行う。
自治体クラウド	地方公共団体が情報システムを庁舎内で保有・管理することに代えて、外部のデータセンターで保有・管理し、通信回線を経由して利用できるようにする取組のこと。複数の地方公共団体の情報システムの集約と共同利用を進めることにより、経費の削減及び住民サービスの向上等を図るもの。
シティプロモーション	地域の魅力を内外に効果的に訴求し、人・物財・資金・情報などの経営資源の獲得を目指すと共に、地域住民の愛着度を形成していく活動。
周南市版ネウボラ	「ネウボラ」とは「アドバイスの場所」を意味する言葉で、「お母さんにやさしい国ランキング」で世界1位を獲得したフィンランドの子育て支援制度。「周南市版ネウボラ」は、全ての妊婦や18歳までの子どもとその家族を対象に、子育て世代包括支援センターを拠点とし、関係機関が連携して、一人ひとりに合ったきめ細かな支援を行う仕組みを指す。
集落支援員	地域の実情に詳しく、集落対策の推進にノウハウ・知見を有した人材で、集落点検を行いながら、地域・集落の現状、課題、あるべき姿等について、住民・行政が一体となった話し合いを進める。（地域おこし協力隊員と同様の総務省の制度）
石炭バルク	ばら積みの（粉粒体のまま包装されずに積み込まれる）石炭。

た 行	
地域の夢プラン	地域住民が対話を通じて、自主的・主体的に地域の将来像や具体的な目標、行動計画等を定めたもの。
な 行	
認定こども園	小学校就学前の子どもに対する保育・教育及び保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設。
燃料電池	水素と空気中の酸素を化学的に反応させて発電する燃料電池。
は 行	
パーク・アンド・ライド	交通利便性の向上、交通渋滞の緩和、環境負荷の低減等のため、通勤通学や行楽の際に、最寄りの鉄道駅やバス停、都心の周辺にある駐車場に車を停めて、電車やバスなどの公共交通機関を利用して目的地や都心へ移動するシステム。
ピー・エフ・アイ P F I	Private Finance Initiativeの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
ファイリングシステム	文書の発生から廃棄までのライフサイクルを効率的に管理するためのシステム。（文書を主に簿冊ではなく紙のフォルダーにとじ込み、キャビネット内で分類して管理）
ら 行	
立地適正化計画	平成26年の改正都市再生特別措置法に基づき市町村が策定する計画で、都市全体の観点からの居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープラン。
6次産業化	農林水産物を収穫・漁獲（第1次産業）するだけでなく、加工（第2次産業）し、流通・販売（第3次産業）まで手がけることで、農林水産業の経営体質強化を旨とする経営手法のこと。
わ 行	
ワーク・ライフ・バランス	働く全ての人々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。